

Enigma FirePlusとZ125 Proの接続方法 ブルートゥース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。

基本的なZ125 Proの整備知識が必要です。

サービスマニュアルに従ってECUと配線が作業できるようにシートを取り外して下さい。

ノーマル車両のシートを取り外すとシート下にECUがゴムで取り付けられています。

ECUに繋がっている34ピンカプラーに、配線を加工してEnigma FirePlusを割り込みさせて下さい。

Enigma FirePlusは近くに水に濡れないよう取り付けして下さい。

カプラー側の配線にEnigma FirePlus配線を点火線、インジェクター線及び、O2センサー線を除き**割り込み接続**します。(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

Enigma FirePlusの動作に問題が起きます。信頼性向上のため直接ハンダ付けする事をお勧めします。

RTFタイプをお使いの方は、ECUに繋がっているカプラーを外し、Enigma FirePlus RTFから出ているカプラーをECUと車体側に接続して下さい。「カチッ」とロック音がすることを確認して下さい。

- 基本的にEnigma FirePlusから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。
Enigma FirePlusから接続する配線は全部で12本です。
ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。
白線はピットレーンリミッタスイッチ用なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁処理をしてください。
- ※ ECUの1番端子(黒)へ接続されている線を切断して、Enigma FirePlusからの配線で、バイク車体側に黒線を接続、ECU側に緑/黒線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECUの20番端子(青/赤)へ接続されている線を切断して、Enigma FirePlusからの配線で、バイク車体側に青/緑線を接続、ECU側に青/白線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 19番端子は灰線ですが、Enigma FirePlusの灰/緑線と接続して下さい。
- ※ 22番端子は黒線ですが、Enigma FirePlusの黒/白線と接続して下さい。
- ※ 26番端子は灰線ですが、Enigma FirePlusの灰/赤線と接続して下さい。
- ※ 28番端子は黄/白線ですが、Enigma FirePlusの黄線と接続して下さい。
- ※ 7番端子と18番端子はどちらも黒/黄線です、Enigma FirePlusからも黄/黒線は2本出ていますので、それぞれにどちらかを接続して下さい。
- ※ O2センサーへ接続するECUの12番端子(黒/青)線は、切断してECU側とEnigma FirePlusを接続して下さい。切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理して下さい。O2センサーを取り外す場合、別売のブラインドカプラーセットが必要です。
- ※ **本体に直接水がかからないようにして下さい。また配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置して下さい。**
- ※ **配線ミスなどで、ECUにエラーが発生した場合、KAWASAKIの販売店や当社別売のDDCSなどでエラーを消去する必要があります。**

■ P C用 Enigma FirePlus 専用ソフトは下記当社ホームページより無料でダウンロードできます。iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

※Z125/Z125 PRO Enigma FirePlus 専用ソフト(アプリ)をお使いください。他のバイク専用の FirePlus ソフト(アプリ)や Z125/Z125 PRO 用の点火機能の無い ENIGMA 専用のソフト(アプリ)は接続できません。

FirePlus 専用のソフト(アプリ)には EASY モードと PRO モードの 2 種類あります。PRO モードは点火マップがご自身で作成できないと、エンジンがかからなかったり、回転が上がらなかったり、最悪エンジンを壊してしまうことがあります。FirePlus が初めてのの方はノーマル ECU の点火時期を進角/遅角できる、EASY モードをお使いください。

ピットインリミッタースイッチの設置

Enigma FirePlus から出ている「白線」はピットインリミッタースイッチ設置の為の配線です。ピットインリミッターは外部スイッチ ON の時だけ速度を制御するためエンジン回転を一定の回転に制御します。この機能を使用したい方は以下の作業を行って下さい。

一般に市販されてるお好みのスイッチを購入して、使いやすい位置に設置して下さい。

(ハンドルに取り付ける場合は運転の妨げにならない操作しやすい場所に設置します)

スイッチは「ON」で通電/OFFで遮断する一般的な仕組みの物です

押している時だけ ON になる物は適しません。ご注意ください。

設置が終わったら Enigma FirePlus の白線を繋ぎます。通常はスイッチには 2 つの端子がありますので片方に白線を接続。もう片方は確実に「ボディーアース」出来る場所に繋ぎます。

※ もっとも確実なのはバッテリーマイナスに繋ぐ事です。間違ってもプラスに繋ぐと回路が焼け落ち使用不能になります。絶対に行わないで下さい。

以上の作業でピットインリミッタースイッチの設置は終了です。

■ ピットインリミッター用の配線を使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。

※ Z125 はエンジンが停止中は FI ランプはエラーが無くても点灯しています。エンジンが始動すると、通常 FI ランプは消灯します。

Enigma FirePlus 接続後アクセル全開でイグニッションキー ON すると Enigma FirePlus は通信状態となり、この状態を視覚的に確認するために FI ランプを点滅させますが、エンジンが始動するまでは、FI ランプは点灯したままとなります。この状況でも通信は可能です。エンジンが始動すると、通信状態中は FI ランプが 2 回点滅します。

アクセルオフでイグニッションキー ON のときは Enigma FirePlus は通信しない状態となり、エンジンが始動すると FI ランプは通常通り消灯します。この状態でも Enigma FirePlus の燃料調整機能やリミッター機能は働いていますので、セッティングなどを行わないときは、アクセルオフのイグニッションキー ON でお使いください。

※ Z125 用 Enigma FirePlus を取り付けるとノーマル ECU が持っている 11,000 回転の点火リミッターをキャンセルします。P C やスマホで、Enigma FirePlus のリミッターを 11,000 回転以上に設定して、11,000 回転以上エンジンを回すと、ノーマル ECU が点火異常のエラーを検出し FI ランプが点灯します。エラーは検出されるだけで、ECU は非常モードに入ることはありません。FI ランプを消すにはその都度、KAWASAKI の販売店や当社別売の DDCS にてエラーを消去する必要があります。エラーを発生させたくない方は、Enigma FirePlus のリミッター設定を 11,000 回転以下にして下さい。

※ Z125 用 Enigma FirePlus はリプレイサー機能を持っていますが、アイドリング調整機能がありません。このため Enigma FirePlus 操作用 P C ソフトの REPLACER 設定、スマートフォン用アプリの ENIGMA 設定画面でアイドリング調整部分は表示されません。